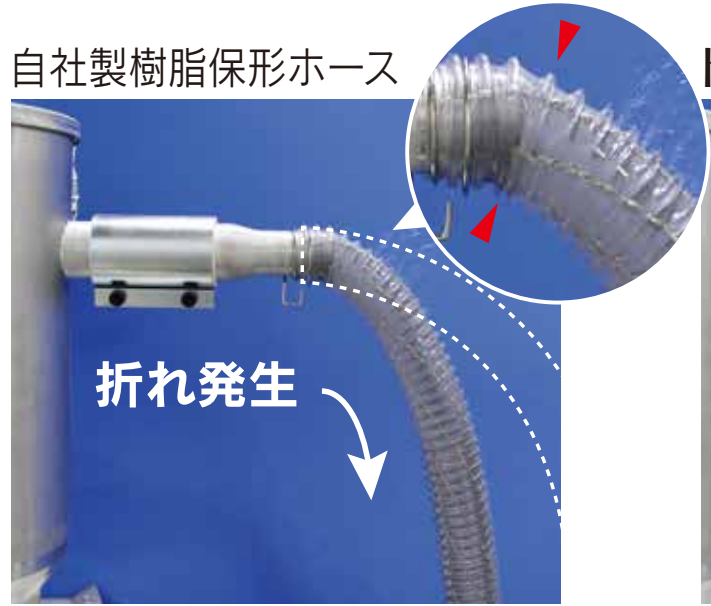


Point 1 高温搬送時のホースの折れ・つぶれを解消し生産効率UP!

高温搬送時の保形性比較 高温ペレット循環試験



8時間×30日目で折れ発生



8時間×100日経過でも異常なし



高温でもホースの折れ・つぶれを防止し、原料の供給減を防ぎ、安定生産できる!

試験方法(トヨックス規格試験)

ホッパードライヤー(乾燥温度100℃)と原料受け、搬送体を吸引するためのオートローダーを使用し、一定のサイクルで、吸引と排出を繰り返し、搬送体を循環させ、ホースが折れるまでの時間を測定する。

- 搬送体: ガラスファイバー入りPPSペレット+粉材
- ホースサイズ: 内径38mm

試験方法(トヨックス規格試験)

ホースを、曲げ状に固定し、-0.03MPaの負圧で状態を確認する

- 雰囲気温度: 70℃、100℃
- ホースサイズ: 内径38mm

曲げ連続負圧試験

耐熱吸引時の保形性比較



70℃でつぶれる



100℃で異常なし